

## 大島地区まちづくりタウンミーティング 開催結果報告書

開催日時 令和7年7月5日(土) 11時00分～12時25分  
場所 川東高齢者福祉センター大島分館  
司会・進行 大島地区連合自治会長  
参加者数 男27人 女4人 合計31人



### 1. 市の重点事業に関する質問

#### (質問者)

震度7程度の地震が発生した場合、大変な被害が出る。大島の場合、渡海船の栈橋が壊れたら、交通網も麻痺してしまう。命を守るといっても、そうなった時には、備蓄にも限りがある。市として、大島に対し、備蓄以外のこととして考えていることはあるか。

#### (市長)

備蓄に関して、よく国が言っているのは、72時間は自分の力で生き延びて欲しいということ。それ以降は、大きな災害だったら国の支援が入ることとなると思うが、何かしらの遅延が考えられるので、備蓄物資を置いてはいるが、できたら、3日間分ぐらいの、食料や水の確保は、常に考えてもらいたい。

また、大きな地震が起きると渡海船が本当に使えるかどうか分からないという問題は考

えられる。その問題に関しては、担当課より説明する。

#### **(地域交通課職員)**

まず、黒島の三段岸壁については、港務局が毎年調査しており、現在のところ本当に大規模災害に耐えるかどうかは不明だが、耐震性、耐久性には問題ないということを知っている。次に、大島の浮棧橋については、浮棧橋であるため特に大きな災害時でも耐えられると認識している。

#### **(市長)**

以前は、漁師さんと船の契約を、危機管理課が行っていた。今日は、担当課の出席がないので、今現在も契約をしているかどうかの確認が取れないが、代替手段というものは、しっかりと考えたいと思う。また、普段暮らしていて、こういうところが心配だというものがあれば、積極的に言っていただくことで我々も気づくことができると思うので、よろしく願います。

#### **(質問者)**

毎回言っているが、大島には光回線が入っていない。だから、ネットと言うが、光回線がないところでネットなんて言っても始まらないと思う。そして、やっぱり光回線が入っていないようなところへ、ネットがあるから都会じゃなくても仕事できるよっていう人は誰も来ない。大島の強みは離島であるため、セキュリティがしっかりしているところである。光回線が入って、セキュリティがしっかりしているということであれば、企業も興味を持ってくれるのではないかなと思う。

また、交通機関についても、企業のトップというのは非常に出張が多い。新居浜は、四国のどの空港からも同じように1時間半かかる。しかし、四国の全部の空港の時刻表を使えるという利点もある。

だから売り方としてはもっといろいろな売り方があると思う。それに別子銅山に作られた坑道等は地中に掘られており、温度管理がしやすい。そういったものを、住友さんに推進してもらって、クラウドセンターを新居浜に作るっていうぐらいの勢いで進めてもらったら、もっと企業が集まるのではないかな。

#### **(市長)**

まず、光ケーブルというよりは、例えばスターリンクみたいな衛星回線を使ったりする方が早いのではないかなと思うので、あえて有線で接続するよりも、違うやりの方が、速度的には問題がないのではないかなと思う。

次に、鉱山の坑道を有効活用したらいいのではないかなというアイデアについて。一つのアイデアということでご提案いただいたと思うが、これは企業のものであるため、なかなか難しいというのが実態である。

次に、各飛行場からアクセスがしやすいという地理的な優位性についてはそのとおりだと思う。空港だけではなく、四国のどこに行くのも便利な場所であり、一泊すれば中四国、関西、どこでも行けるような、地理的な優位性はあると思うので、新居浜市も四国の真ん中だというふうに思っている。そのことはしっかりとアピールしていきたいと思う。

## 2. 校区課題

### 渡海船の運航について

#### (質問者)

渡海船は、令和6年度10月から、18時台と20時台が減便となった。その原因は、離島対策で、国や県から、交付金をいただくために、削減をしないといけないということで、一番利用者数が少ない2便が減便したという話を聞いている。

大島は、他の地区と比べてはるかに高齢化世帯の割合が高い地区である。その人たちが、渡海船を利用する時間は日中である。17時以降に利用される方は、仕事に行っている人で、10人程である。そのほか、いろんな組織の会合に参加される方たちがいるが、少数であると思う。ただ、その人達たちにとれば、すごく不便さを感じるということである。

そこで、提案だが、減便は仕方ないとしても、運航時間の振り分けをどうするか。例えば、13時から21時までの7便で、13時台、21時台は変更できない。では、残りの5便をどう振り分けるかということになるが、現在は、1時間に1往復で運航しているが、それを1時間20分に1往復という運航もありなのかなと思う。そうすると、17時以降21時までに2回往復できるようになると思うので、そういう運航もありかと思う。今の運航がすごく不便に感じている方は少数ではあるが、いるので、ご検討をお願いしたい。

#### (経済部長)

現在のダイヤは令和5年の減便時に、島民の方へのアンケートや過去の乗船実績等を踏まえて、利用者の少ない便を減らして、このような形になっている。

今回ご提案いただいたので、13便の中でのダイヤ変更については、柔軟に対応させていただきたいと考えている。ただ、住民の方のいろいろな意見もあると思うため、住民の意見をまとめていただき、どういった時間がいいのか提案をいただければ、地域交通課と運輸局と連携・協議して、変更することも可能だと思うので、まずは地域の方で、ご意見をまとめていただきたいと考えている。

#### (質問者)

私が提案したのは、少数意見である。島民の意見を集約して提案をするとすると、先ほど言ったとおり利用者の大多数は日中の利用者で、17時以降利用する可能性がある人は少数であるため、今のダイヤで良いということになる。それについてはどう考えるか。

#### (経済部長)

減便時も協議をしていただき、確かに利用者もいる中で、2便減便という形になっている。ただ、少数の方の意見を満たすためには、増便という対応をしないといけないが、そのことについては難しいと考えている。13便の中で、今言われたことも満たされるような運航が可能なのであれば、協議していきたいと考えている。

#### (質問者)

減便のことについては、島民全員には諮られていない。だから減便になったと聞いた時にはびっくりした。島民全員に諮ることは当たり前だと思う。今回もアンケートをすると、日中の利用者が多いのだから、私たち少数の意見は通らない。だから、本当に考えていただき

たい。

**(市長)**

1日13便であるため、上手に振り分けたら、偏ることはないと思う。13便を上手に振り分けるやり方をどうするのかという話だと思う。

住民の人を中心に考えていきたいと思うので、少数だからというのではなくて、みんなで譲り合いながら、それぞれがある程度便利に使える時間帯というものを探っていけたら良いと思う。

今のダイヤだと少し不都合な人が多いという声が上がってきているので、会長さんと皆さんにも協力していただきながら、皆さんの意見を聞いて、多数決で決めるのではなく、それも踏まえて、どういうふうな時間帯がいいのかを相談しながら、決めていけたらと思うので、よろしく願います。

**(質問者)**

台風の接近や冬場の季節風等で、欠航になる場合がある。海上の風速が15メートル以上で欠航になるという目安がある。

風の強さに関し、天気予報に注意を払って、仕事をしているわけだが、欠航の情報は、市役所から、スマートフォンにLINEの通知があるので、それを見て確認している。

ただ、LINEが来たときには、すでに欠航になっていたり、もうすぐ欠航になるという時もある。大島の内外で勤務している人のことを考えると、1時間半ぐらい前に通知をいただきたい。緊急な時も当然あるとは思いますが、早めの判断が必要だと思う。

また、15メートル以上になるだろうと想定されるときに、その時点で、欠航の判断ということは難しいのか、或いは実際に15メートル未満で欠航してしまった場合に、何か問題があるのか。例えば、予備的に欠航の判断をすることは可能なのか。

**(経済部長)**

欠航、運航の再開のお知らせについては、マニュアルに従い、いろいろなツールを使って、お知らせをさせていただいている。

まず、欠航が決定した場合には速やかに防災無線等で放送し、ホームページやLINE、メルマガ等でお知らせをしている。

基本的に、事前に決定できる場合は2時間前を目途にお知らせできるようにしている。ただ、安全を守ることが一番であるため、突然、天候が変わるようなこともあることから、その時間通りにできず、事後になってしまうということもあるが、基本的には、想定ができる2時間前を目途に発出するようにしている。

これは計画運休というものになるが、できるだけ欠航をしないで欲しいと思う方もおり、事前に教えてもらわないと困ると思う方もいる中で、市としても、できるだけ、島民の方に不便がないようにすること、安全に運航をしなければならないことを考え、現在のような2時間前という形で対応している。

また、いろいろなツールを使っているが、それ以外のツールで便利なものなどがあれば、また協議させていただけたらと考えている。

**(質問者)**

風が強いとか、霧で見えないとか言うけれど、何をもとに判断しているのかが見えない。素人でも、見たらわかるようになっていない。

**(経済部長)**

専門的になるので当然、船長や関係者の方で協議をして、決められたルールに基づいて欠航の判断をしている。欠航してほしくないという気持ちは当然だが、安全に運航するということが第一であるため、ご理解いただきたい。

できるだけ欠航をしないで欲しいと思う方、事前に教えてもらわないと困ると思う方もいらっしゃる中で、利便性、安全性を考え、現在のような対応をしているので、ご協力いただけたらと思う。

**(質問者)**

霧が出ているときに欠航するのは仕方がないことだと思う。でも、黒島が見えていても、運航を再開しない時があった。船員に聞いても、「私ではわかりません。船長判断です。」と言われた。黒島にいる人に確認したが、市役所から誰も見に来ていないと話があった。どういう体制をとっているのか。船が欠航するということは、緊急事態であると思う。そういった時は、市役所から確認をするため、人が来るということは、当たり前のことではないのか。

**(質問者)**

基準がわからない。風速についてもそうである。

**(質問者)**

風速計でも、船にはついていると思うが、大島は湾になっているので、海上ほど風は吹かないはずである。15メートルと言うが、どこの情報をもって判断しているのか。市役所に電話をして聞いても、いろいろな資料を判断して決めているとの説明があった。市役所から誰も見にも来ないのに。それに、運航を再開するときに、もう何時間も待っている人がいるため、早く動かして欲しいと言った時に、届出している運航表があるので時間どおりでないと動かせない、それ以外に動かすと違反になると言われた。このことについても、どういう基準で決めているのか。

**(経済部長)**

欠航の判断は市役所にいる者が、動かして欲しいと言ったとしても、船長が決める権限を持っているので、船長が運航基準に基づいて、こういう状況であるから欠航すると決めれば、動かすことはできない。風が吹いていなかったり、霧が晴れていたりすることはあるのかもしれないが、船長は15分の運航の間に、危険な状況になるという可能性も考えながら判断をしている。

渡海船事業は国から認可を受けて、運輸局等と、運航の仕方、ルールを決め、それに基づいて運航をしているため、それを変えるということは難しいので、ご理解いただきたい。

**(質問者)**

工事車両について、特に、朝の7時台、夕方の16時、17時台に大型車両がたくさん出入りしている。この時間の運航は「くろしま」となっており、積み残しが発生している。そこで、この時間帯の運航を「おおしま7」で行ってはどうか。

**(経済部長)**

現在は、1、2便と、11便以降が「くろしま」で運航している。これは効率化の面で、通常そのような運航となっているが、工事車両等の台数が多い日を事前に把握している場合は、臨機応変に「おおしま7」へ切り換えて、運航させていただいている。

情報が入っていない時に、積み残しがあるのではないかと思うが、工事車両の調整の中で、必要に応じて変更させていただきたいと考えているので、よろしくお願いします。

**大島一周道路の維持管理について**

**(質問者)**

大島も山火事の心配があるが、大島一周道路をポンプ車が走れない。藪が道を塞いでいたり、路面も荒れている。せめて、ポンプ車が走れるように維持管理をして欲しい。防災面においても、そのような維持管理を目指して欲しい。

**(建設部長)**

現在は、7月と10月の2回実施しており、7月は中旬ぐらいには実施したいと考えている。

葎が特に繁茂して、通行に支障が出ているという状況は、十分認識しているが、近年の草の成長の早さと、維持管理にかかる費用が非常に増大しており、年間2回の除草をする費用を捻出するのが精一杯である。

実施回数を増やすことは困難であるため、その時期であるとか、どの辺を集中して実施すればいいのか等、費用の増大ができない中での工夫ができればと考えているので、皆さんのご意見もお聞かせいただきたい。

**3. その他**

**(質問者)**

渡海船について、海難訓練はきちんとしているのか。私が見る限り実施されていないように思うが、どうか。

**(地域交通課職員)**

毎年、重大事故訓練というのを、2月に船内で実施している。その際には、運輸局、海事事務所、海上保安署、市長、部長すべてに電話連絡をしている。

**(質問者)**

事故が起きたら沈没しかねないので、よろしくお願いします。

**(地域交通課職員)**

事故が起きないように、重大事故訓練、定期的な整備、年に1回の船検ドックの時にしっかり確認しており、引き続き注意して、安全運航していくので、よろしくお願い申し上げます。

**(質問者)**

大島の高齢化が進んでおり、動けない人も多くなってきている。避難所開設の場合は、交流センター、川東高齢者福祉センター大島分館を使用している。交流センターは坂があるの

で、不便な人も出てきている。川東高齢者福祉センター大島分館は平地にあるため、来やすいのだが、階段になっており、スロープがない。本来であれば、車イスでも入れることが普通だと思うが、手すりもついていない。地域コミュニティ課との協議の中でも、お願いはしているが、さらにお願いをしたい。

**(質問者)**

大島は、高齢化が進み、今日来られていない方も多し。今日、お話をさせていただいたことを忘れないで欲しい。また、高齢化や人口減少で孤立化しないように、新居浜市の市民として考えていただけたらと思う。

**市長まとめ**

長時間にわたってお時間をいただき、御礼申し上げます。

様々な意見をいただくことができました。

できることから取りかかっていたいと思うし、また相談をしていかなければ進まないこともあると思う。どうぞこれからもよろしくお願い申し上げます。